



先人達の熱き想いに感謝し  
祖国日本とふるさと千歳の新しい未来を築きあげる

## 2016年度 年間報告書

一般社団法人 千歳青年会議所  
事務局  
〒066-0042  
千歳市東雲町三丁目2-6 千歳商工センター1F  
TEL : 0123-24-6868  
FAX : 0123-24-6868  
URL : <http://chitose-jc.com/>  
E-mail : [mail@chitose-jc.com](mailto:mail@chitose-jc.com)

The Creed of  
Junior Chamber International

We believe:

That faith in God gives meaning and purpose to human life;  
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;  
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;  
That government should be of laws rather than of men;  
That earth's great treasure lies in human personality; and  
That service to humanity is the best work of life.

JCI 約領

我々はかく信じる：  
「信仰は人生に意義と目的を与える  
人類の同胞愛は国家の主権を超越し  
正しい経済の発展は自由経済社会を通じて  
最もよく達成され  
政治は人によって左右されず法によって  
運営されるべきものであり  
人間の個性はこの世の至宝であり  
人類への奉仕が人生最善の仕事である」

JC 宣言

日本の青年会議所は  
混沌という未知の可能性を切り拓き  
個人の自立性と 社会の公共性が  
生き生きと協和する確かな時代を築くために  
率先して行動することを宣言する

約 領

われわれ JAYCEE は  
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し  
志を同じうする者 相集い力を合わせ  
青年としての英知と勇気と情熱をもって  
明るい豊かな社会を築き上げよう

JCI MISSION

To provide development opportunities that empower young people to create positive change  
青年が積極的な変革を創造し開拓するために能動的に活躍できる機会を提供する。

JCI Vision

To be the leading global network of young active citizens

千歳 JC 運動方針

私達は、地域に寄与する団体として  
千歳の優位性を最大限に活かすと共に  
輝くまちの魅力を創出し  
一人ひとりがふるさと千歳を愛する心を醸成し  
地域と共に育む「ひと」「まち」の創造・実践を  
今後の運動方針とする。

行動提案

1. 「地域の魅力」輝く千歳創造運動
2. 「ふるさと愛」溢れる千歳創造運動
3. 「志高い市民」集う千歳創造運動

2016 年度 スローガン

先人達の熱き想いに感謝し  
祖国日本とふるさと千歳の  
新しい未来を築きあげる

2016 年度 一般社団法人千歳青年会議所

LOM アカデミー塾長

南雲 勇次



中山理事長が掲げた正会員 50 名を目標に始まった会員拡大の運動の成果もあり、多くの新入会員を迎えて 2016 年度の運動を行うことが出来ました。当初の年間計画にはなかった LOM アカデミーでしたが、私の我がままにより開催をさせていただくことが出来ました。LOM アカデミー開催にあたり、承認していただいた三役の皆様には大変感謝しております。私自身、青年会議所最終年度という事もあり、自分が 6 年間で得た知識を全て伝えるという事を目標にし、5 回の LOM アカデミーと 6 回の議案作成の勉強会を開催させていただきました。熱心に講演を聞く塾生の皆さんとの取り組み姿勢には、自分自身が圧倒された時もありました。講師を受けてくれた増子君、木村君、吉岡君も大きなプレッシャーがあったのではないかと思います。大変忙しい中でもプレゼンを作り、塾生に対して真剣に取り組んでくれて有難う御座いました。新入会員の皆さんも多くの青年会議所運動に取り組んでいたりを持ち、立派な JC マンへと成長してくれたことを嬉しく思います。最後に一言を伝えて塾長としての報告とさせていただきます。「何も恐れず自分自身の目標を大きく持ちなさい。最後には仲間の支えによって到達出来るのが青年会議所である！！」一年間有難う御座いました。

# 目 次

会員一覧	( 3 )
理事長報告	( 4 )
事業・例会報告	( 7 )
活動報告	( 15 )
1. 直前理事長 井渕 利光	
2. 副理事長 三澤 計史	
3. 副理事長 鳴海 昌成	
4. 副理事長 大宮 裕輔	
5. 専務理事 瀧 雄一	
6. 顧問 南雲 勇次	
7. 監事 佐藤 元康 (特別会員)	
8. 監事 高田 周一郎(特別会員)	
9. まちの魅力推進委員会 委員長 曙 嘉輝	
10. ふるさと愛推進委員会 委員長 太田 憲之	
11. 市民力推進委員会 委員長 加藤 寛志	
12. 総務委員会 委員長 曽我部 喬	
出向者報告	( 21 )
1. 公益社団法人日本青年会議所 国家グループ 憲法意思確立委員会 総括幹事 増子 洋行	
2. 公益社団法人日本青年会議所 國際グループ 日本のファンづくり委員会 委員 吉岡 育 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 憲法論議・国史教育推進委員会 幹事 吉岡 育	
3. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 道央エリア担当 副会長 井渕 利光	
4. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 和の心創造委員会 委員 太田 憲之	
5. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 当事者意識創造委員会 委員 大宮 裕輔	
6. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 当事者意識創造委員会 委員 中田 圭介	
7. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 地区大会運営委員会 委員 曽我部 喬	
8. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 道央エリア運営会議 議員 中田 愛	
9. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 総務運営委員会 副委員長 三澤 計史	

10. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
　　総務運営委員会 幹事 鳴海 昌成
11. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
　　総務運営委員会 委員 加藤 寛志
12. 道央エリアアカデミー塾 塾生 安部 優雅
13. 道央エリアアカデミー塾 塾生 稲船 美貴子
14. 道央エリアアカデミー塾 塾生 亀山 康徳
15. 道央エリアアカデミー塾 塾生 木村 利貴
16. 道央エリアアカデミー塾 塾生 木本 幹二
17. 道央エリアアカデミー塾 塾生 後藤田佑輔
18. 道央エリアアカデミー塾 塾生 坂口 直希
19. 道央エリアアカデミー塾 塾生 佐藤 一馬
20. 道央エリアアカデミー塾 塾生 富樫 昭大
21. 道央エリアアカデミー塾 塾生 沼田 大喜
22. 道央エリアアカデミー塾 塾生 林 愛
23. 道央エリアアカデミー塾 塾生 藤野 マキ

#### LOMアカデミー塾長メッセージ・・・裏表紙裏面

1. 2016年度LOMアカデミー塾 塾長 南雲 勇次

#### 会計報告・・・別添資料

一般社団法人千歳青年会議所 2016年度 正会員リスト

NO	所 属	役 職	名 前
1		理事長	中山 千太朗
2		直前理事長	井渕 利光
3		副理事長	三澤 計史
4		副理事長	鳴海 昌成
5		副理事長	大宮 裕輔
6		専務理事	瀧 雄一
7		顧問	南雲 勇次
8	まちの魅力推進委員会	委員長	曙 嘉輝
9	まちの魅力推進委員会	副委員長	中田 圭介
10	まちの魅力推進委員会	委員	安部 優雅
11	まちの魅力推進委員会	委員	亀山 康徳
12	まちの魅力推進委員会	委員	坪田 松生
13	まちの魅力推進委員会	委員	富樫 昭大
14	まちの魅力推進委員会	委員	中田 愛
15	まちの魅力推進委員会	委員	登立 太郎
16	まちの魅力推進委員会	委員	羽生 健太郎
17	ふるさと愛推進委員会	委員長	太田 憲之
18	ふるさと愛推進委員会	副委員長	今井 涼
19	ふるさと愛推進委員会	委員	伊藤 香織
20	ふるさと愛推進委員会	委員	稻船 美貴子
21	ふるさと愛推進委員会	委員	井上 慎也
22	ふるさと愛推進委員会	委員	及川 進
23	ふるさと愛推進委員会	委員	岡田 恵
24	ふるさと愛推進委員会	委員	後藤田 佑輔
25	ふるさと愛推進委員会	委員	吉岡 育
26	ふるさと愛推進委員会	委員	渡部 順大
27	市民力推進委員会	委員長	加藤 寛志
28	市民力推進委員会	副委員長	木村 利貴
29	市民力推進委員会	委員	木本 幹二
30	市民力推進委員会	委員	坂口 直希
31	市民力推進委員会	委員	沼田 大喜
32	市民力推進委員会	委員	林 愛
33	市民力推進委員会	委員	深谷 信之
34	市民力推進委員会	委員	藤野 マキ
35	総務委員会	委員長	曾我部 喬
36	総務委員会	副委員長	佐藤 一馬
37	総務委員会	委員	増子 洋行

# 理事長報告



2016年度 一般社団法人千歳青年会議所  
第53代 理事長

中山 千太朗

## 【はじめに】

先輩諸氏の皆様が52年もの永きにわたりまちづくりの運動を修練、奉仕、友情の3信条を持って連綿と紡いで来られました歴史ある一般社団法人 千歳青年会議所第53代目となる理事長を務めさせていただきました。年度初めの新年交札会におきまして多くのご来賓、関係諸団体、敬愛する先輩諸氏の皆様、公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会役員、同志である各地青年会議所理事長をはじめとする多くの正会員の仲間達にご臨席を賜り新体制のお披露目をさせていただきました。本年一年間、多くの皆様にご支援、ご協力をいただきまして千歳青年会議所の事業、例会を開催出来ましたこと、重ねて千歳青年会議所に正会員をご輩出いただきました各企業、関係諸団体の皆様、そして日々のJC生活を支えてくださいましたご家族、関係者のすべての皆様に心からの感謝を申し上げます。

## 【責任世代としての使命】

本年度はスローガンに『先人達の熱き想いに感謝し 祖国日本とふるさと千歳の新しい未来を築きあげる』とさせていただきました。戦後の混乱期に始まり、高度経済成長の中にも幾多の経済危機を迎えるながらも困難を乗り越え、日本の未来のため命を懸けて現代の明るい豊かな社会を築いてこられた先人達の精神に対し、正会員に感謝の心を醸成し、我々も明るい豊かな社会を築き上げる責務があることを改めて認識していただきました。まちづくりを担う責任世代として百折不撓の精神で運動に励むことを常に意識喚起し合い切磋琢磨いたしました。次世代に誇れる社会を引き継ぐ使命を胸に、今後も会員一同はより一層青年会議所運動に邁進して参ります。

## 【まちの魅力の発信と可能性】

千歳には国内空港でも有数の乗降客数を誇る国内、国際線を有する新千歳空港があります。2016年の統計では2,000万人以上の乗降客が新千歳空港を利用されています。実に千歳の人口の約200倍以上の人數にあたります。国内はもとより年々増加している世界からの乗降客により新千歳国際空港の需要は増加しています。こんなにも多くの方が千歳の地を訪れているのに対し、残念ながら千歳には立ち寄らず素通りしてしまっている現状があります。アクセスのためだけのまちではなく千歳の良さを知ってもらいたい。このすばらしい千歳の魅力を体験してもらいたい。その想いから千歳青年会議所では『CHITOSE RIVER C

ITY PROJECT』を2014年に初開催しました。国立公園に属する支笏湖を源とした千歳川は名水100選にも選ばれナイベツ川を支流に持つ水量が豊富で美しい清流です。この素晴らしい観光資源に触れ、千歳のまちに多くの観光客が訪れるることは、必ずやふるさと千歳に賑わいをもたらすと信じ事業を開催いたしました。さらには、国内外から観光客を多く呼び入れることはまちの魅力の発信だけに留まらず、人口減少の一途を辿っている日本に対し、交流人口を生み出すこととまちの活性化と人口減少問題を打破します。加えて地域経済を活性化するさまざまな波及効果があります。2020年には東京オリンピックが開催されます。世界中の多くの人々に誇れる祖国日本の魅力をアピールする最高のチャンスとして捉え、今後も絶えまぬ努力と発信に邁進して参ります。ユネスコ無形文化遺産に登録された和食、四季折々の情緒溢れる気候、日本人のおもてなしの心は必ず日本を訪れた世界の人々に感動を与えます。我々の小さな運動がいざれは国内外から多くの人を呼び込み、まちの賑わいを創造することでのふるさと千歳から母なる大地北海道へ、ひいては祖国日本への活力となり再興への道へと繋がる第一歩と信じ、今後もその小さな一步を確実に歩み続けて参ります。

### 【千歳ふるさと青年大使は君だ】

私達もふるさとに育てられた若者としての恩返しをしたい。そして、ふるさとの良さを伝えまちの未来を担う若者になって欲しいと考えた本年度で第2回目となる『千歳ふるさと青年大使は君だ！2016』を開催させていただきました。ふるさとを知り、当たり前のように日常にある多くの魅力に触れ、新たな発見、見識を深めるにつれ高校生にふるさと愛を醸成し、多くの人々に千歳をPRする青年大使を未来の千歳を担う次世代を育成しました。優勝した高校生はまちの魅力のPRだけではなく、千歳を訪れ手話を必要とする観光客の方々への思いやりが詰まったコミュニケーションにより『あったかみのあるまち「千歳」』と題し、受け入れ側の人々に何ができるのかを問う素晴らしいアイディア満点のプレゼンテーションで審査委員と来場いただいたすべての人に感動をもたらしました。さらに9月に開催されたインディアン水車まつりにおいてもプレゼンテーションを発表し、多くの方々へふるさととまちに住もう人々と千歳のまちを訪れる人々を想うふるさと愛を披露しました。会場内に沸き起こった拍手と発表を無事終えホッとした高校生の姿は、私たちのJC運動がまちのため未来を担う次世代のためとなっていることを実感させていただきました。今でも高校生の感動的なPRにかけた情熱が目に焼き付き心に刻まれています。

### 【未来の熱き志高い市民への感謝】

昨年で『千歳市民討議会』は4回目を開催することができました。千歳市民の方々を対象に昨年よりさらに500名多い2,500名の方々に無作為抽出で討議会への参加のご案内をさせていただき、結果、多数の方々にご参加をいただきました。そして自らの住まうまちの未来は若者達が率先して考え方論を交わすべきだと考え、若い世代の積極的な参加を募るべくテーマを子育てとし熟議を交わし、さらには子育てに有益な情報の共有、悩みの相談や千歳市が提供している子育て支援の施設、施策を学ぶことができました。そこで市民からの声を討議会の結果として市政への提言書として作成し、討議内容の報告を行いました。そして、目標として掲げていた若者たちの参加者を増やすことも達成し、昨今叫ばれる若者のまちへの関心の希薄化に一石を投じたものと考えています。まちのことを想い行動する若い人達が一人でも多く増えれば必ずや、そのまちとまちの人々が創り上げる明るい未来が待っています。熟議を交した参加者の方々の熱い議論を見て、自分達のまちは自ら創り上げる。その様なまちづくりを考え

る場として提供できたものと感じました。

### 【千歳青年会議所会員拡大】

本年も5名の熱い情熱を持った同志が卒業し、一般社団法人千歳青年会議所は来年33名でスタートを切ります。一時は100名規模の体制を誇った一般社団法人千歳青年会議所は3分の1近くとなっております。そのため経験年数の少ない会員は一致団結し必死の想いで活動を続けています。少数精鋭で仲良く手を取り合い日々努力はしているものの人手不足は決して否めません。本年度は目標50名を掲げましたが38名に終わりました。今後の組織継続のため会員拡大は必須となっております。未来の一般社団法人千歳青年会議所のため一人でも多くの同志を増やすべく、来年度以降も会員拡大を積極的に行います。

今後も千歳青年会議所会員は同世代の見本となる品格と熱き情熱を備えまちづくりについて汗を流し続けます。しかし、挫折し失敗することも多くあるかもしれません、その時には必ず友情により仲間同志で支え合います。時には先輩諸氏から厳しくも温かい激励のお言葉をいただき、自らを奮い立たせ再び挑み続けます。百折不撓という百回の挫折にも決してめげず折れることのないまちづくり精神は責任感、友情によって支えられ続けていきます。

いつ何時でも青年会議所の看板を背負った青年としての品格と自覚を持ち行動のひとつひとつに責任を持ちます。その姿に共感し我々が会員拡大活動をせずとも千歳青年会議所に入会したいと門を叩いてくる組織づくりを目指します。

### 【地域関係諸団体との連携】

理事長所信にも掲げていた他団体との連携によるまちづくりの相乗効果として本年は『千歳川桜プロジェクト』の植樹に参加させていただきました。6団体が一堂に会しまちづくりのためのプロジェクトは近年無かったようで、それぞれの理念は違いますが、まちのため地域に住もう人々のためという利他の精神として千歳青年会議所も参画できることを大変光栄に思います。植樹された桜が来春には満開の花を咲かせ訪れた方々へ感動をもてなすことを祈っています。

### 【結びに】

本年度、先人達の築きあげてきた歴史ある一般社団法人千歳青年会議所の第53代理事長を拝命し、決してその名を汚さぬよう百折不撓の精神で邁進することを一年の年頭に掲げ事業として『CHITOSE RIVER CITY PROJECT』、『千歳ふるさと青年大使は君だ！2016』、『第4回千歳市民討議会』に加えて『スノーバスターズ』『ウェルカム花ロード』『千歳川清掃』『千歳川桜プロジェクト』、そして毎月の例会などさまざまな運動を開催できましたのは偏に千歳に住もう皆様、関係諸団体の皆様、そして敬愛する青年会議所先輩諸氏、メンバーとご家族、すべての方々のご協力の賜物とここに改めまして心からの感謝を申し上げます。今後も青年会議所活動を通じ祖国日本とふるさと千歳の未来を築き、少しでも日本と北海道そしてふるさと千歳のために運動に邁進していくことをお誓いし2016年度理事長としての報告とさせていただきます。

# 事業・例会報告

## 2016年度1月例会(新年交礼会)

日時	2016年1月13日(水)18時～20時
場所	ANAクラウンプラザホテル千歳2階 千歳の間
テーマ	先人達の熱き想いに感謝し 祖国日本とふるさと千歳の新しい未来を築きあげる
主管	まちの魅力推進委員会

2016年度の千歳青年会議所に対するご理解を深めていただくことを目的に、千歳市内関係諸団体、企業様、全道各地の青年会議所会員、千歳青年会議所OB会の先輩諸氏がご臨席のもと、第53代理事長中山千太朗より新春のご挨拶と本年度の運動方針を発表させていただきました。当日は、136名の方々にご参列をいただき、新体制を披露することができました。



## 2016年度2月例会

日時	2016年2月8日(月)19時～21時
場所	千歳商工センター2階 大会議室
テーマ	J Cを学び、誇り高き J A Y C E E となれ！
主管	市民力推進委員会

JAYCEEとしての自覚を持ち行動できるように、会員個人が積極的に人間力の向上を図るきっかけにすることを目的に実施いたしました。当日は、JAYCEEとして例会に参加をする心構えや品格についてのプレゼンテーション実施後に、JC経歴のある南雲勇次君に、運動をして行くまでの姿勢についての講演をしていただきました。本例会を通じて、改めて自己を見直し今後のJAYCEEとして意欲的な姿勢の向上を図るきっかけを構築することができました。



## 2016年度3月例会

日時	2016年3月10日(木)19時～21時
場所	千歳商工センター2階 大会議室
テーマ	和衷共濟～心を合わせて広げる千歳の輪～
主管	ふるさと愛推進委員会

本例会は、関係諸団体の方々に千歳青年会議所の運動を理解してもらうとともに、地域の団体同士がお互いの活動を理解し、結びつくことがまちにとって重要であることを認識していただきました。当日は12名の対外参加者に出席していただき、市民活動団体の現状について情報提供をして頂いた後に、市民活動団体の連携強化についてのパネルディスカッションを開催し、活発な意見が飛び交うことで千歳青年会議所の今後の運動に対して必要なことを学ぶことが出来ました。



## 2016年度4月例会（3LOM合同例会）

日時	2016年4月14日(木)19時～21時
場所	ホテルグランテラス千歳
テーマ	チームの力でトップを目指し友情を育もう！！
主管	市民力推進委員会

本例会は、恵庭青年会議所、北広島青年会議所と合同で例会を開催し、交流を通じて、親睦を図り、刺激しあうことで今後のJ C活動への意欲を活発にしていくことを目的に開催いたしました。本年は、千歳青年会議所が主管となり、ホテルグランテラス千歳で、チーム戦による参加型クイズ大会を実施し、3LOM総勢62名が所属するLOMの役職、経験年数の垣根を越えて、JAYCEEとしてチームの仲間たちと解決策を導きだし行動することで親睦交流を図ることが出来ました。



## 2016年度5月例会

日時	2016年5月12日(木)19時~21時
場所	曹洞宗 大禪寺
テーマ	感謝の気持ちと百折不撓の精神を学ぶ
主管	まちの魅力推進委員会

本例会は、感謝の気持ちと強い精神を醸成することを目的に実施いたしました。当日は、押見大禪寺副住職に「転んだら起き上がるがいいじゃないか」をテーマに、副住職が経験してきた「百折不撓の精神」についての講演をしていただいたことで百折不撓の意味や理事長の所信を改めて深く理解することが出来ました。又、正会員一同が座禅を組み精神統一をすることでメンバー全員が自分の内面と向き合い、より強い精神を醸成することが出来ました。



## 2016年度6月例会

日時	2016年6月16日(木)19時~21時
場所	千歳商工センター2階 大会議室
テーマ	「温故知新～千歳の歴史を知り新しきを学ぶ」
主管	ふるさと愛推進委員会

本例会は、正会員に対して千歳のまちについてしっかりと知識を持っていただき、その知識や千歳の魅力を後世に伝え残していく人材を育成することを目的として実施いたしました。講演を通じて、千歳の歴史や魅力について学びました。また、例会効果測定テスト実施したことによって、己の知識を再認識することができ、今後の事業構築に対してよい効果を生むことができました。



## 第4回千歳市民討議会

日時	2016年6月19日(日)9時30分～16時30分
場所	千歳市立千歳公民館 2階大集会室
テーマ	Voice of ちとせ みんなで話そう！次世代を育むための道
主管	市民力推進委員会

本年は、千歳市民と千歳青年会議所正会員で構成される千歳市民討議会実行委員会が主体となって、千歳市民討議会を運営し、市民主導のまちづくりに向け意見を発することが出来る志高い市民を創出することを目的に事業を開催いたしました。当日は、40名の市民の皆様にご参加をいただき、「子育て支援」についての討議が行われました。



## 2016年度7月例会

日時	2016年7月21日(木)19時～21時30分
場所	ホテルグランテラス千歳 2階 凤凰の間
テーマ	まちの未来を照らす灯りとなれ
主管	三役

千歳青年会議所の新入会員候補者に青年会議所運動に興味を持って頂き、入会のきっかけとしていただくとともに正会員の青年会議所の運動に対するモチベーションを向上させ、ひとり一人が自発的に今後の青年会議所の活動に取り組んでいくことを目的として実施いたしました。講師として日本青年会議所北海道地区協議会2016年度会長の岩浅圭一君をお招きし、青年会議所活動を通じたまちづくり並びに青年会議所の魅力と無限の可能性についてご講演いただきました。



## CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2016

日時	2016年7月23日(土)・24日(日)
場所	千歳川河畔公園・河川敷
テーマ	CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2016～千歳川で会いましょう～
主管	まちの魅力推進委員会

千歳市内外の人が地域の魅力に触れることで、千歳川を起点に賑わいを創出し、交流人口の拡大による地域経済の発展に寄与することを目的に開催いたしました。

二日間で延べ10,000人にご来場いただき、千歳川の魅了をPRすることができました。



## 千歳ふるさと青年大使は君だ！2016

日時	2016年8月10日(水)18:00～20:30
場所	北ガス文化ホール 中ホール
テーマ	千歳ふるさと青年大使は君だ！2016
主管	ふるさと愛推進委員会

千歳市内の高校生が千歳のことを学び、地域の魅力を発信する活動を通じて、地域への愛着を持ち次世代のために活動していく人材を育成する事を目的に第2回目の事業を開催いたしました。当日は、4組の高校生達による千歳のまちに対する想いが伝わるプレゼンテーションを実践していただきました。



## 2016年度8月例会

日時	2016年8月19日(金)18時～21時30分
場所	千歳市民納涼盆踊りグリーンベルトメイン会場
テーマ	浴衣の女王選手権 2016～今日に輝け、浴衣めんこい子。～
主管	総務委員会

浴衣の女王選手権を通じて、千歳市民納涼盆踊り大会の魅力を感じていただき、参画者を増やして中心市街地の賑わいを創出することを目的に本例会を開催いたしました。当日は、27名の方に浴衣の女王選手権に参加をして頂き、盛大なパレードが行われました。



## 2016年度9月例会

日時	2016年9月8日(木)18時～21時30分
場所	千歳商工センター2階 大会議室
テーマ	第4回市民討議会結果検証及び今後の実行委員会のあり方について
主管	市民力推進委員会

千歳市民討議会参加者に対して例会を通じて、市民討議会についてご理解をいただき市民による行動こそ必要であるという意識を高めていただくとともに、正会員には、市民自らが行動するまちづくりの大切さを感じてもらうことで市民意識改革の重要性を認識して頂くことを目的に開催いたしました。例会当日は、第4回市民討議会の検証及び提言書案の報告並びに今後の市民討議会実行委員会のありかたについてのプレゼンテーションを行いました。



## 2016年度10月例会

日時	2016年10月13日(木)
場所	千歳商工センター2階 大会議室
主管	ふるさと愛推進委員会
テーマ	受け継ぐ伝統 新たな創造

会員一人ひとりが、青年会議所会員として、より自らを高める機運を作り出すとともに、改めて青年会議所に入会した意義について考え、今後に向けて、自らがしっかりと伝統や歴史を認識し、またそれらを新入会員にもしっかりと伝えられるよう理解し、組織としての力を維持・強化することを目的に開催いたしました。例会当日は、講師に山口幸太郎先輩をお招き、千歳青年会議所の過去の事業の想い出や、青年会議所から学んだことについてご講演をいただきました。



## 2016年度11月例会

日時	2016年11月10日(木)
場所	千歳商工センター2階 大会議室
主管	三役
テーマ	原点に立つ～想い溢れるマチづくりに向けて～



本例会では、2017年度の運動の方向性と各々の役割を理解することを目的に開催をいたしました。2017年度三役予定者に理事長所信に沿った運動と組織についてプレゼンテーションを用いて正会員に対して、説明を行いました。例会最後には2016年度の卒業生から例会にご参加していただいた感想と正会員に対するエールをお話していただきました。

## 2016年度12月例会(卒業式例会)

日時	2016年12月3日(土)
場所	ANAクラウンプラザホテル千歳 2階千歳の間
主管	まちの魅力推進委員会
テーマ	先人達の熱き想いを胸に新しい未来へ

2016年度は、稻船美貴子君、中田圭介君、南雲勇次君、鳴海昌成君、羽生健太郎君の5名がご卒業されました。当日は、千歳青年会議所の運動に対しご支援ご協力をいただいた先輩諸氏並びにご卒業生のご家族の皆様に、1年間の活動報告と感謝の気持ちをお伝えして、懇親を深めることを目的として本例会を開催いたしました。また、一年間活動を行ってきた正会員の努力を讃えるとともに、正会員一同が感謝の気持ちを表して卒業生を送り出しました。



## 活動報告

直前理事長 井渕 利光

本年は、直前理事長として昨年の経験を踏まえ、中山理事長を支えるべく様々な場面で助言及び補助など、陰日なたとして1年間活動を行って参りました。これまで専務理事、副理事長、理事長と三役を経験させていただきましたが、直前理事長は一步引いたところから客観的に千歳青年会議所の運動の方向性や活動がどのように行われているのかを見ることができる役職でもあります。私自身、本年いただいた役職の中で、これまでの経験をいかしたフォローや皆さまのお役に立てていたのだろうか？もっと助言しなければいけないことや伝えなければいけないこと、またLOMが抱える課題に対し果たして真摯に向き合うことができていたのだろうか？自分自身に反省は多くあるように感じます。しかし、本年掲げられたスローガン「先人達の熱き想いに感謝し祖国日本とふるさと千歳の新しい未来を築きあげる」を胸に、これまでふるさとをつくってこられた先達への感謝と地域から日本を良くしたいといった崇高な理念のもと1年間、中山理事長をはじめとする会員の皆様におかれましては、様々な困難を乗り越え「百折不撓」の精神で千歳青年会議所の歴史に新たな1ページとして、2016年度の運動を刻むことができたものと考えます。結びに、来年は最後の活動として、これまで培った経験をもとに千歳青年会議所の下支えとして1年間活動を行っていくことをお誓い申し上げるとともに、会員の皆様におかれましても本年培った経験をもとに来年度もさらに飛躍されることをご祈念いたしまして、報告とさせていただきます。

副理事長 三澤 計史

本年度はまちの魅力推進委員会担当副理事長として千歳青年会議所の活動に関わらせていただきました。まずは、年頭に地域に寄与する団体として新体制のお披露目と一年間の運動をお示しすべく新年交礼会の立案と運営に携わらせていただきました。本年度最初の例会であり、委員会も不慣れな部分はありましたが精一杯取り組み、組織の志氣を高めることができました。そして、7月には「CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2016」を担当させていただきました。本年度の新たな事業価値であります交流人口の拡大に関してはやや課題の残る結果となりましたが、事業本来の趣旨であります地域資源を活用したまちづくりを委員会と共に実践し、ふるさと千歳の明るい未来を築き上げるべくさらなる一歩を踏み出すことが出来ました。さらに、年末には正会員全員で一年間の運動の成果を称え合い、これまで千歳青年会議所の活動にご尽力いただいた本年度卒業となる5名の正会員を送り出すべく12月例会を担当させていただきました。本例会を担当させていただいたことにより、委員会が誰よりも一年間の成果に感謝し、卒業生の熱き想いを受け継ぎ、今後の青年会議所活動を行っていくと私は確信しております。結びに、本年担当させていただいた委員会の例会・事業構築に際し、多大なるご助力を賜りました関係諸団体の皆様に深く感謝を申し上げるとともに、私自身一年間の経験を糧に今後の青年会議所活動に精一杯取り組んでいくことをお誓いし役員報告とさせていただきます。

## 副理事長 鳴海 昌成

最終年度である今年度は「ふるさと愛溢れる千歳創造運動」を実践すべくふるさと愛推進委員会担当副理事長として活動してまいりました。今年度の使命として関係諸団体との関係性の強化を目的とした3月例会。行動提案にもある子供から大人までがふるさと愛を認識できる「千歳ふるさと青年大使は君だ！」。当事業を昇華させるための準備例会としての6月例会。そして、OB諸兄への感謝の場としての10月例会を掲げさせていただき委員会とともに活動いたしました。一年間運動を進めて行く中で、太田委員長と様々な意見を交わさせてきましたが、事業を行う立場である我々に「ふるさと愛」が足りているのかという疑問にたどり着きました。そこで、各例会の内容を方向転換し正会員に不足している「ふるさと愛」を補っていくことを決め活動してまいりました。色々とわがままを聞いていただきました理事長には心から感謝申し上げます。担当事業である「ふるさと青年大使は君だ！」は昨年度の課題点である集客と大使の活躍の場を改善すべく活動してまいりましたが、集客の点で昨年度を上回ることが出来ませんでした。しかしながら今年度は活躍の場を設ける事が出来た事により、次代を担う高校生の「ふるさと愛」を感じていただくことはできたと感じております。最後となりますが太田委員長はじめ委員会メンバーには力の限り活動してくれたことに感謝いたします。また、当事業に関わって頂きました関係諸団体、市内各企業、学校関係者に感謝申し上げ役員報告とさせていただきます。

## 副理事長 大宮 裕輔

2016年度は、副理事長という大役を中山理事長から付託され、「志高い市民」集う千歳創造運動のもと担当する市民力推進委員会とともに事業・例会を構築して参りました。予定者の段階から、中山理事長がスローガンに掲げる先人たちへの感謝の想いやまちへの想い、そして所信を事業や例会の中でどのように具現化し、運動として実践できるかを常に考えてこの一年を過ごしてきました。三役会では、中山理事長や鳴海、三澤両副理事長、瀧専務理事と多くの議論を重ね、三役会が深夜まで及ぶことも度々ありましたが、そこに費やした時間は議案を通して、中山理事長が目指すまちづくりに近づけたのではないかと考えております。担当した事業の一つである「第4回千歳市民討議会」では、若い世代の参画、市民による地域課題の掘り起こし、実行委員会の主体的な運営を事業の大きな目標とし、加藤委員長と話し合いを重ね、計画書を作成し準備を進めて参りました。テーマの選定に関しても、市民にとって身近な課題、関心はどこにあるのかを徹底的に議論してきました。事業当日は昨年より参加者は減少したものの、参加者の平均年齢も下がり、若い世代のまちづくりに対する関心や意識を高めることが出来たものと考えております。実行委員会の主体的な運営に関しては、メンバー、実行委員ともに自立に向けて課題を共有し来年以降の実施に向けて大きく踏み出すことが出来たと考えております。この1年、副理事長として運動の中核を担えたこと、そして理事長をはじめとする委員会メンバーに支えられてこの役職を全う出来たことに感謝の意を込めて、1年間の報告とさせていただきます。

専務理事 瀧 雄一

創立52年という長きに渡る一般社団法人千歳青年会議所の専務理事を拝命し、早いもので一年が経過しようとしております。年当初から市内関係諸団体、各地会員会議所の新年交礼会にはじまり、公益社団法人日本青年会議所並びに北海道地区協議会の事業や大会に多く随行させていただき、多くの学びと気づきをもって職務を務めて参りました。中山理事長が理想とした組織運営を全う出来たのかと一年を振り返ると、決して自分一人の力ではなく、多くのメンバーに支えられてここまで来れたのだと感じております。専務理事という貴重な一年を過ごさせていただいたことに心より感謝申し上げるとともに、これまでお支えいただいたすべての千歳青年会議所メンバーに最大限の感謝を申し上げ、専務理事報告に代えさせていただきます。一年間ありがとうございました。

顧問 南雲 勇次

卒業を迎える本年、顧問という立場で一年間の活動をさせていただきました。新たな役職ということもあり、どのような意見を自分が発するべきか迷いもありましたが、最終的には厳しい意見を言う自分らしさを忘れずに挑む一年となりました。理事長経験者として理事会では厳しく、例会・事業では口を出さずに正会員の取り組む姿勢について注視し意見・対応を伝えてきましたが、まだまだ伝えるべきことはあったと思います。また自分自身も多くの新入会員の増加で、千歳青年会議所に新たな風が吹きこまれたことにより、考え方の相違による新たな気付きや反省というものを最終年度にして感じることができました。本当にありがとうございました。2016年度スローガン「先人達の熱き想いに感謝し 祖国日本とふるさと千歳の新しい未来を築きあげる」を掲げ中山理事長の涙から始まった一年、正会員一同しっかりと千歳の未来のための一歩を踏み出せた一年であったと思います。青年会議所に求められる運動は変化が早く、柔軟性を持って挑むことが大切です。歴史を受け継いでいくという気持ちと同時に新たな歴史を築いていくという気概をもって運動に邁進してください。一年間お疲れ様でした。

## 監事 佐藤 元康

本年度、監事という役を預かり定款で定められた職務である「監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。」「監事は、いつでも、理事及び使用人に対しての事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況を調査することができる。」という、担いの他に、本年度直接的に当会議所に関わることができる最後の年として、事業の本質を突き詰めた一年であった。創立50周年を機に「千歳青年会議所運動方針・3つの行動提案」を改訂し、3つの柱となる事業を創り上げたものの継続していく中で、事業の成り立ちや、マチに対する憂いというものを持てずに「事業をこなす」という悲観的な部分は否めない。今一度、このマチにとって必要なことはなにか、未来への創造力を高めていただきたいと切に願うところである。しかし、その反面、「組織力」という面においては近年稀にみる組織の纏まりがあったのではないかと感じるところである。この両立こそが、これから千歳青年会議所の価値を高め、マチにとって必要とされる団体へと成長することを祈念して報告にかえさせて頂きます。

## 監事 高田 周一郎

昨年、千歳青年会議所を卒業しましたが今年度はご縁をいただき、外部監事を拝命いたしました。現役時代は主にご意見をいただく立場で参加しておりましたが、今年度は一転して意見を述べる立場となりました。現役メンバーの日頃のご苦労を想像すると委員長をはじめとするメンバーが時間を割いて作成した議案に厳しい意見を述べることに若干の躊躇はありました。監事として千歳青年会議所が発展し、委員長が成長することを願い意見を述べさせていただきました。本年度実施された3大事業については、いずれも継続事業であったため、事業をいかに発展させるかが大きな課題でした。各委員会が英知を絞り、全力で取り組んでくれたため、各事業とも本年度らしい工夫がなされた素晴らしい事業を開催することができました。もっとも、運営面では過去と比較して後退してしまった一面も散見され、課題がなかったとはいえない。また、今年度は34名という多くの人数でスタートしたため、LOMに活気があり、事業・例会もマンパワーを活かすことができました。他方でメンバーの増加によりLOMとして団結力が若干弱まってしまったように感じられた点がありましたので来年の課題としていただきたいと思います。来年度も外部監事を拝命することになりましたので千歳青年会議所の発展のために尽力することを決意し、監事報告とさせていただきます。

## まちの魅力推進委員会 委員長 曙 嘉輝

当委員会では本年度、新年交札会、5月例会、「CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2016」、12月例会を担当させて頂きました。中山理事長体制のもと千歳青年会議所が運動方針において行動提案の一つとして掲げる「地域の魅力」輝く千歳創造運動を実践すべく例会、事業を構築して参った所存です。新年交札会では一年の船出として、半世紀にわたる地域に寄与する団体としての運動を振り返り、本年度の運動の方向性と感謝の気持ちをお示しすることで千歳青年会議所に対するご理解を頂けたものと考えます。5月例会では、感謝の気持ちと強い精神を醸成することを目的として、曹洞宗大禪寺において住職ご協力のもと講演と坐禅を行いました。12月例会では、先輩諸兄をお招きして感謝の気持ちをもって今年度の活動報告を行い、今まで長きにわたり千歳青年会議所を支えてくれた5名の卒業生を送りだす事が出来ました。そして7月に開催された「CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2016」ですが、本年度は地域資源を活かした賑わい創出の仕組みの定着と交流人口の拡大によって地域経済の発展に寄与すべく事業を展開して参りました。クラウドファンディングや新たな会場の雰囲気づくり、初めて千歳青年会議所でドリンク販売に取り組んだことが次年度以降の実施に繋がることを期待します。結びとなりますが、本年度担当した事業、例会の実施に際し、多くの地域の皆様や先輩諸兄にご協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げ、委員長報告とさせて頂きます。

## ふるさと愛推進委員会 委員長 太田 憲之

ふるさと愛推進委員会は、千歳に住まう方々へふるさとへの愛情を醸成するべく運動の実践と、地域関係諸団体との連携のための活動を行って参りました。まずははじめに、3月例会『和衷共濟～心を合わせて広げる千歳の輪～』をテーマに、関係諸団体の皆さんをお招きして実施いたしました。地域の団体同士がお互いの活動を理解しあい、結びつくことがまちにとって重要なこと、所謂ソーシャル・キャピタルについて学ぶことが出来た例会になりました。次に、6月例会『温故知新～千歳の歴史を知り新しきを学ぶ』を千歳市史編纂担当者と、千歳まち魅力検定実行委員会の皆さんを講師としてお招きして開催いたしました。正会員に対して千歳の事についてしっかりと知識を持っていただき、その知識や千歳の魅力を後世に伝え残していく人材となっていただくことを目的として実施いたしました。担当例会の最後として、10月例会『受け継ぐ伝統 新たな創造』と題し、千歳青年会議所の先輩でもある、山口幸太郎千歳市長を講師としてお招きし、伝統や歴史を学び、組織としての力を維持・強化できるよう個々の資質を高めることを目的として実施いたしました。そして当委員会のメインとなる事業『千歳ふるさと青年大使は君だ！！2016』を8月10日、北ガス文化ホールにて開催いたしました。参加チーム数は4組と昨年度から比べて少なかったものの、プレゼンなどのチームも素晴らしい出来で、投票結果も各チーム僅差の勝負となりました。今年度は千歳北陽高校のチーム北の太陽がふるさと青年大使に選ばれ、9月19日には、千歳の道の駅で開催されたインディアン水車まつりのステージで、多くの来場者に対して千歳のPRを行ってもらいました。発表後の大使から、人生で一番緊張したけど、一番成長できる機会をもらえた旨の感想をもらうことができました。

## 市民力推進委員会 委員長 加藤 寛志

本年度、市民力推進委員会では4月に千歳、恵庭、北広島青年会議所合同による3LOM合同例会、6月には市民討議会実行委員会とともに開催した第4回千歳市民討議会、9月には市民討議会の報告例会と3つの事業例会を担当させていただきました。3LOM合同例会ではともに考え、ともに体を動かすクイズ形式の例会を開催し、LOM間の垣根を超えて交流することで友情を育むことができました。第4回千歳市民討議会では千歳市が注力している人口増加の問題に注目し、その中の子育て支援について市民とともに熟議を重ねました。結果、多くの問題を抽出することが出来ました。9月例会では市民討議会で出てきた問題に対する提言の発表を行い、今後の市民討議会実行委員会の展望について話し合いました。上記のような我々の1年間の活動を通じ、我々の委員会の目標であった志高い市民の創造運動を行い、市民討議会に参加していただいた多くの市民、市民討議会実行委員会メンバーの皆様には、千歳に対する関心を深める事ができたと実感しております。今後も市民力推進委員会メンバーは今年度に学んだことを率先して実践していくことで志高い市民創造運動を推進していきます。

## 総務委員会 委員長 曽我部 喬

当委員会は、千歳青年会議所の運動を担う組織を支えた運営を1年間通して行い、規律を遵守した組織を構築することを目標に活動してきましたが、反省すべき点も多く残してしまいました。しかしながら、今日まで心が折れかけた時も現実逃避をすることなく組織運営を継続して行うことができたのは、他の委員会メンバーの支えがあったからこそだと思います。また、多くの正会員との交流を通じて友情を育むことができたことや理事会や総会での設営、事業に行く際の配車の手配、事業案内並びに出欠の取り纏めなど、運営する立場から謙虚な姿勢を学ぶことができたのは総務委員会の委員長に拝命して頂いた中山理事長のお陰であると思っております。さらには本年、中山理事長が掲げた外部団体が主催する集いに積極的に参加することを実践したことで他の正会員とともに数多くの見識を学ぶことができました。本当に感謝の気持ちで一杯です。結びに、冒頭の反省すべき点として、SNSを活用した情報発信の内容と頻度が低かったことや正会員50名体制を実現できなかったことがございますが、しっかりと次年度委員会に引き継ぎをして、2017年度の千歳青年会議所の運動が飛躍できるように2016年12月31日まで組織運営に邁進して参ります。

公益社団法人日本青年会議所  
国家グループ憲法意思確立委員会 総括幹事 増子 洋行

本年度栗山JCより出向する松原輝和委員長の幹事として、日本JCへ出向させていただきました。出向先の憲法意思確立委員会は、「知識と意識を伴った民間防衛力の確立」という国家グループのスローガンのもと、日本人が持つ価値観や国柄を理解しながら、この国のあるべき姿を描けるよう国民の意思を確立させることを目標に運動を行って参りました。事業としては、3月より全国一斉！国民投票シミュレーション！私たちの意思を示そう！を実施し、憲法前文に焦点を当てて、現行憲法とJC版日本国憲法と対比させ、改正に賛成か反対かをインターネットサイト並びに47ブロック事業と連携し、疑似国民投票を通じて国民が主権者としての意思表示ができるよう意識喚起の実施を行いました。続いて、3月の日本青年会議所の総会に合わせて全国理事長サミット「地域から変える日本の未来！」と題し、ケント・ギルバート氏と神谷宗幣氏をお招きし、リアルタイム行うアンケート集計に応じて進行内容を変える、双方向型のパネルディスカッションを実施いたしました。7月のスマーコンファレンス2016では春香クリスティーン氏と草の根市民運動として用いられるコミュニティ・オーガナイジングの第一人者である鎌田華乃子氏をお招きしパネルディスカッション「日本の選択！」～未来をつくるのはオレたちだ！！～を開催しました。年間を通じて、美しい日本国憲法をつくる国民の会・各地県民の会、日本会議、民間憲法臨調や新憲法制定議員同盟等の団体と連携し全国キャラバンを実施し各地の憲法議論を巻き起こす運動を実施いたしました。1年間を通じて、日本国憲法に対する正しい知識と意識を持ち、様々な意見や立場を乗り越えて、この国の悠久の歴史からなる和の国柄に誇りを抱いた多くの国民を創出し、国民が主権者として国家に意思表示できるよう、全国のメンバーと実施することができました。千歳青年会議所のメンバーとして、本運動に参画できる機会を与えてくれたLOMに感謝し、出向者報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 国際グループ 日本のファンづくり委員会委員  
公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会憲法論議・国史教育推進委員会幹事 吉岡 豪

本年度は日本JC、北海道JCの2委員会に出向し、日本のファンづくり委員会では日本の魅力を体感できる事業「AMAZING JAPONISM」をタイとインドネシアで開催し、海外の方に日本の文化である茶道や和菓子作り、折紙、けん玉などを体験していただきました。また、社会実験としてGPS開催時にニューヨークの飲食店で現地の日本酒好きなコアなファンと人気ブロガー等で日本の文化を語りながら世界に日本酒を広める活動を開催。世界中の日本プログラムでは日本の素晴らしさや世界での役割、世界の実情やフェアトレードを学ぶ出前講座を実施しました。その他、中国G20YEAへの支援やNPO法人国境なき奉仕団との連携、ジャパンナイトにおけるフリーハグ運動、日本の魅力を発信するFacebookページ「WE LOVE JAPAN」の運用等、1年を通じて様々な活動、経験をさせていただきました。憲法論議・国史教育推進委員会では眞の主権国家確立室の北の防人委員会と合同で北海道JCフォーラムや地区大会のフォーラムを開催し、その他e-みらせんの運用推進、若者と政治をつなげるワークショップ等を開催致しました。担いが異なる2委員会でしたが、両方共まずは自分自身、日本の歴史や世界の中の日本を学ぶ事から始まり「日本のファンづくり」「国史教育」「愛国心」「愛郷心」と言ったキーワードがリンクしました。1年を通じて新たな発見や様々な価値観を持った人達との交流により深い学びがありました。関わりのあった全ての皆様に感謝！

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
道央エリア担当 副会長  
井渕 利光

本年は、さらなる飛躍を目指すべく北海道地区協議の役員として、出向する機会を与えていただきました。私の役割としては、北海道の青年会議所が4つのエリアに分かれている中で、道央LOMの発展を目指すことが主な役割として、エリア会議では理事長の皆さまよりご意見をいただきながら、北海道地区協議会が推進する事業に対し、参画意識の向上と地域から未来を切り拓く北海道地区協議会の運動を推進してまいりました。また、未来の地域を牽引するリーダーを育成するために、各LOMよりアカデミー塾生を輩出していただき、切磋琢磨しあうことで磨かれるJAYCEEとしての資質を高めるとともに、会員相互の交流から地域の特性や優位性を理解し運動の視野を広げるために、道央の会員が一同に会する場を創出し、互いを知ることで志を一つに運動の推進力を高めてまいりました。本年は地区役員として出向させていただき、道内における様々なLOMや会員との交流から、千歳青年会議所のポテンシャルの高さを改めて認識しました。しかし、まだまだ発展していく可能性を秘めていることも同時に見ることができ、出向はある意味、井の中の蛙ではありませんが、一歩離れたところから自身の住まう地域の可能性を見ることができるといった点では、貴重な経験をさせていただきました。結びに、「2016年度の北海道地区協議会スローガン「和の心で未来を切り拓け！輝く北海道創造に向けて」をスローガンのもと、岩浅会長をはじめとする出向者の皆さまとともに運動に関われたことに感謝いたしまして、出向者報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
和の心創造委員会 委員  
太田 憲之

本年度、山本秀也委員長率いる和の心創造委員会に出向して参りました。LOMで委員長を拝命していた関係もあり、前半は殆ど参加できずJCフォーラム直前のリハーサルの時によく初参加となりました。メインフォーラムを担当する当委員会は、JCフォーラム本番を向かえ、私は主に写真撮影を担当しました。メインフォーラムは、恵庭の早坂貴敏会務担当副会長がコーディネーターとして参加し、パネリストとして、札幌大谷大学教授の梶井祥子先生、タレントのはるな愛氏と南明奈氏を迎えてのものでした。パネルディスカッション形式で、日本人が昔から大切にしてきた、互いが互いを助け合う共助の精神「和の心」を今一度見つめなおし、改めて「和の心」が必要だということを皆で共有する内容でした。タレントのお二方からは主に東日本大震災のときの復興支援のお話でしたが、梶井教授のお話の中であった、「人と関わることは自分を活かすこと」と「人に何かやってもらいたいからやってあげるのではなく、自分の次の世代になって返ってきてもいいじゃないか、お返しのリレーです」ということが特にその通りだなと感じた点でした。また、LOMで担当した3月例会でも登場したソーシャル・キャピタルについて梶井教授が取り上げていた点は嬉しかったです。その他には委員会としては、急遽北海道を襲った台風による大雨災害の復旧支援を担当いたしました。1年を通して参加する回数は多くありませんでしたが、LOM以外の委員会等に参加できた事は良い経験となりました。

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
当事者意識創造委員会 委員  
大宮 裕輔

本年度は、公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会の当事者意識創造委員会へ出向する機会を与えていただきました。本委員会では、道内の地域課題解決に向けた道民の自発的な行動を促すため、北海道に点在する多くの問題を自分事と捉える場を創出し、地域の問題に対する当事者意識を喚起することを目的として「北海道JCフォーラム2016」、「JCカップ」、「地域創生政策コンテスト」を道内各地より集まった22名の仲間とともに1年間活動してまいりました。今回、初めての出向となり、事業の他、札幌、小樽、旭川など様々な場所で開催される委員会にも出席させていただき、活動を共にした時間は決して多くはありませんでしたが、事業を構築していく中で、他の地域と比べ千歳の恵まれている状況に温度差を感じながらも、自身が住まうまちの未来について真剣に考え、同じ志を持つ仲間が全道にこんなにも多くいることに勇気づけられました。何より自らが当事者として人口減少など北海道が直面する共通の課題に真正面から向き合う姿勢にとても感銘を受けました。各事業においても、十分な活動に参加出来ない中、池田委員長はじめとするスタッフに支えられ各事業に携われ少しでもLOMや地域に貢献できたのではないかと考えております。最後になりますが、出向により多くの出会いや機会を与えていただきました中山理事長、そして出向先である当事者意識創造委員会の皆様に感謝を申し上げ報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
当事者意識創造委員会 委員  
中田 圭介

JCライフ最終年となった本年、北海道地区協議会当事者意識創造委員会へ出向させていただきました。出向先となった当事者意識創造委員会では3つの事業があり、北海道JCフォーラム2016、JCカップ、地域創生政策コンテストを北海道各地より集まった22名の同志とともに1年間活動してまいりました。5月に開催された北海道JCフォーラム2016では委員会参加もままならず当日を迎えることになりましたが、委員長をはじめとする委員会メンバーの熱き想いと事業に向かう姿勢には私に大きな気づきを与えてくれました。8月に開催されたJCカップはスポーツを通じたひとづくり推進のためU-11少年少女サッカー全国大会予選大会を開催いたしました。当日は台風の影響もあり試合自体の開催は叶いませんでしたが、サッカー教室を通して仲間意識や責任感の大切さを伝える事が出来ました。また悪天候にもかかわらず中止せず最後まで責務を全うした委員会メンバーにはとても感動を受けました。9月に実施した地域創生政策コンテストは第65回北海道地区大会函館大会内での開催となり、自分の担いとして政策コンテスト閉会式での司会という大きな役割をいただきました。当委員会の本年の集大成となるこの事業に向き合う委員会メンバーの姿勢や同じ目標に向かってやり遂げていく仲間の姿を見て自分も大きな影響を受け成長できたと感じております。最後になりますがJCライフ最終年度にこのような素晴らしい場所に出向させていただいた中山理事長に深く感謝するとともに私からの出向者報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
地区大会運営委員会 委員  
曾我部 喬

千歳青年会議所に入会してから初めて北海道地区協議会に出向させて頂きました。アカデミー経験がない自分にとって、初めての出向とあって期待と不安が交差する精神状態でありましたが、多くの地区大会運営委員会の出向者が自分よりもJC経歴が長かったために、1年を通じて、出向をした過去の体験談や魅力を教えていただきました。一番の想い出として函館地区大会の懇親部会に配属となった際に、9月1日～9月3日までの3日間が炎天下の五稜郭で朝から晩まで設営の準備をしたことで心が折れそうになりましたが、出向者のメンバーと励まし合いながら無事に懇親会を終えることができた瞬間に出来て良かったと思いました。なぜなら、函館地区大会の懇親会を成功させようという目標のもと、北海道から集結したメンバーと修練に励んだことで友情を深めることができたからです。その際に一人の出向者の方が、2007年の千歳での北海道地区大会に参加していたことから千歳からの出向者である自分に気をかけていただき、今までの青年会議所での失敗談や信頼を勝ち取るには謙虚な姿勢が重要であることを教えていただきました。このような体験は、地区運営委員会に出向していなければ、経験することができなかつた体験でありますので来年度、出向を迷っている千歳青年会議所のメンバーがいたら出向を推奨いたします。結びに、出向を通じて多くの出会いに感謝して1年の報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
道央エリア運営会議 議員  
中田 愛

本年度、北海道地区協議会道央エリア運営会議議員として出向させていただきました。出向先ではメンバーが何年も先輩のように思え戸惑いも多くありましたが、私がアカデミー塾生時の藤原幹事が議長として上に立ち、知らない方々が何も分からぬ私に優しく接していただき、すぐにではないですが打ち解ける事が出来たと思っています。出向先の扱いとしましては道央エリア会議の運営をはじめとする様々な扱いがあり、その中でもアカデミー塾の運営を担当させていただきました。今までLOMでは味わったことのない緊張感、経験をさせていただいたとともに楽しさ、嬉しさを経験させていただきました。本年、千歳青年会議所から多くのアカデミー塾生が出向者しており、経験者として楽しさ等を伝えて行かなければならない立場にありながらも、運営会議にはすべて参加する事が出来ませんでしたが、自分がアカデミー塾生の時を思い出したことで初心に戻って、千歳青年会議所の良い所、悪い所を再確認する事ができました。そして、次世代へ伝えて行かなければ再確認する事が出来た1年であったと思います。今回の出向で運営会議に関わられた事、多くの出会い、多くの経験をさせていただいた千歳青年会議所の皆さんには多大な感謝をいたしまして、出向者報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
総務運営委員会 副委員長  
三澤 計史

本年度は公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会総務運営委員会に副委員長として出向させていただきました。総務運営委員会では主に、員会議所をはじめとする地区協議会の主催する諸会議の準備と運営に加えて、北海道地区協議会に関する渉外業務を担うべく活動をさせていただきました。年頭に京都の地で開催された第1回員会議所を皮切りに出席させていただいた諸会議の準備段階ではアジェンダ作成に従事させていただき、会議当日にはマイクシステムの運用や議事録の作成など会議運営に関する基礎知識と組織の規律を学ばせていただきました。また、渉外業務におきましては、会議場との折衝に加えて、組織内部での連絡調整を中心に行いました。その際、特に注意していなくてはいけなかつたことは年間の青年会議所行事や諸会議、各事業のスケジュールを把握することでありました。その結果として、自身が今後の青年会議所活動を活発に行うためのスケジュール管理において、常に参考になる有益な経験をさせていただきました。そして、職務分掌とは異なる部分ではありますが、常に諸会議に参加させていただくことにより、多くの出向者の皆様とコミュニケーションをとらせていただきました。結びに、出向を通じて学んだ会議運営や資料作成における基礎知識とガバナンスや、渉外活動におけるスケジュール管理と他が為を思う和の心の重要性をLOMにしっかりと伝え、組織力の強化に努めていくことをお約束し、出向者報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
総務運営委員会 幹事  
鳴海 昌成

本年度は三澤副理事長と加藤委員長と共に北海道地区協議会総務運営委員会に出向させていただきました。道央幹事としての役割として主に道央エリアメンバーの出欠確認、道央エリア各地で行われる会議の設え、議事録の管理を担当させていただきました。委員会全体としては正副会长議や役員会議、員会議所会議等の設えや地区協議会事業、懇親会の準備、各種アテンド、議案チェックの担当と主に北海道地区協議会の陰日向となって運動を下支えさせていただきました。本年度で卒業となりますのが入会5年目にして初めて地区協議会の仕組み、そして重要性を知ることになりました。各種会議の前日には委員会メンバー総出で一睡もせずに議案チェックをしていたこともあります。北海道地区協議会の運動を推進していく上にて総務運営委員会の活動はとても重要な事であることを認識させていただく事ができました。北海道地区協議会の運営を知る意味では非メンバーに総務運営委員会に出向して運営を学び、LOMに還元していただきたいと心から思いました。このような出向の場を与えてくれましたLOMに感謝し簡単ではございますが出向者報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
総務運営委員会 委員  
加藤 寛志

今年度、初めて北海道地区協議会に出向させていただきました。初めての出向が総務運営委員会という事で、多くの運営に関する学ぶ機会をいただきました。改めて、すべての会議の運営において総務が大切な担い、そして責任を背負い、活動していることで自分たちが気持ちよく会議に参加できていることを自身の経験に刻むことが出来ましたし、すべての事業が多く意見に磨かれ、素晴らしいものへと育っていく過程を近くで見て、自分の考えの狭さを感じることが出来ました。今後は、今年度の貴重な経験を活かし、明るい未来に向けて邁進し、多くの事を伝えることが出来る青年経済人へと成長していく努力を続けていきます。

道央エリアアカデミー塾 塾生 安部 優雅

私は、2016年1月に一般社団法人千歳青年会議所に入会いたしました。右も左もわからない私でしたが、入会してすぐ道央エリアアカデミー塾に出向させていただきました。アカデミー塾では、井渕塾長のもと様々なセミナーや講演の中で、まずJCとはどのようなものかを勉強することができました。また、他の地域や他のロムにいる仲間と知り合うことができ、スポーツ交流やアカデミー研修塾、懇親会を通じて、同じチーム内だけではなく、チームを超えて同じ塾生としても親睦を深めることもできました。1年目はわからないことだらけでも、2年目3年目と責任も生まれ、大変なこともあるかと思います。そんな時、相談したり助け合ったりすることができる仲間ができたことは、大変貴重な機会となりました。最後に、今回出向する機会をいただけたことに感謝申し上げ、アカデミー出向で得たことを今後の青年会議所活動に生かしていくことをお約束して、私の出向者報告とさせていただきます。

道央エリアアカデミー塾 塾生 稲船 美貴子

2016年2月に入会して今年で卒業の私には限られた期間ではありましたが、道央エリアアカデミー塾生として出向させていただき多くの出逢いと多くの経験と学びを得ることができました。各地域から集まった年齢や立場など境遇が違う仲間でもJCという同じ志を持っている仲間とは打ち解けあうのも早く、また様々な地域での取り組みやそれぞれのLOMでの活動などを知ることができる機会でした。限られた時間に多くを吸収したい私には実に学び多き場がありました。ここで繋げて頂いたご縁や学びは、社業に戻り一市民としてまたOBとして現役の仲間を応援しながら活かしていきたいと思います。またアカデミー塾を設えていただきましたエリア運営会議のスタッフの皆様のご尽力される姿には多く感動させられました。たくさんの方々に支えられ見守られたアカデミー塾でした。今年卒業する私にこのような機会を与えていただきました千歳青年会議所の皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

道央エリアアカデミー塾 塾生 龜山 康徳

2016年1月1日に一般社団法人千歳青年会議所に入会しアカデミー塾に出向させていただきました。アカデミー塾には2回しか参加出来なかつた事が残念に思いますが2回の参加の中で私は青年会議所に入会して良かったと気づく事が出来ました。理由として、同じ志を持った仲間やアカデミー塾生の為に場所を用意して下さる道央エリア運営会議のスタッフの皆様に出会えた事により貴重な経験をすることが出来たからです。千歳で開催したアカデミー塾は私にとって大きな衝撃がありました。雨の中での懇親会で道央エリア運営会議のスタッフの方々がアカデミー塾生の為に懇親会の場所を用意して下さった時、青年会議所の人の心の大きさに感動しました。この経験を活かしこれからのJC活動に邁進していきたいと思います。アカデミー塾に出向する機会をいただきありがとうございました。

道央エリアアカデミー塾 塾生 木村 利貴

アカデミー塾に出向し、チームの幹事として参加をさせていただきましたが、運営側の大変さをLOM内ではなく、他LOMのメンバーをまとめることの大変さを勉強させていただきました。また、横の絆を深めることができたのも、アカデミー塾の醍醐味であると感じました。次年度は委員長として、アカデミー塾で勉強したことを糧に、さらなる他LOMとの交流、また、委員長としての新たな発見に楽しみを感じながら、1年間邁進して参ります。

道央エリアアカデミー塾 塾生 木本 幹二

2016年1月1日より一般社団法人千歳青年会議所に入会させていただき、入会後に道央エリアアカデミー塾へ出向させていただきました。道央エリアアカデミー塾とは、道央エリア（石狩・後志・空知地区）のLOMの中で入会3年未満の会員が対象の研修塾で1年間を通じて計4回の塾が実施されました。日程調整ができず第1回・第2回の塾以外出席できず今しかできない貴重な体験を逃してしまったことを後悔しております。アカデミー塾は、それぞれ異なる地域で異なったLOMにいながら同じ志を持った仲間がこんなにもいることに驚き感動したとともに、JCという組織の偉大さを知ることができました。何よりも年齢や経験、職種の異なった方々と知り合い、仲間となり人脈が広がったことが自分にとって貴重な経験値になりましたし、自分が千歳青年会議所の一員であることに自覚をおぼえるきっかけになったような気がします。以上、私からの出向報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

## 道央エリアアカデミー塾 塾生 後藤田 佑輔

2016年1月1日に一般社団法人千歳青年会議所に入会させていただきました。そして入会と同時に道央エリアアカデミー塾に出向させて頂きました。道央15LOMから入会3年未満の会員が集まり、1年間を通して沢山の事を学ばせていただきました。全6回のアカデミー塾を残念ながら日程の都合上3回しか参加できず、今しか体験できないこと逃してしまったとしても後悔しております。数少ない参加の中で講演の受講やディスカッションを体験させていただき少ないながらも自分の成長を感じたとともに、地域、業種、年齢も異なる人たちとの交流はとても刺激を受けました。このような経験を今後の青年会議所活動に活かしていき、熱き思いを胸に地域貢献を積極的に取り組んで行きます。最後になりますが、アカデミー塾を運営するにあたりご尽力された運営会議スタッフの皆様には心から感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。

## 道央エリアアカデミー塾 塾生 坂口 直希

2月江別でのアカデミー研修塾開校式は多忙のため参加できませんでした。3月札幌でのアカデミー研修塾では、JAYCEEとしての目的や使命、JCで何をしたらいいのかを学びました。千歳青年会議所に入会して間もない私にとって、青年会議所とはどのような場所で何をしていくべきなのかを学ぶ貴重な場となりました。6月に砂川で開催されたアカデミー研修塾は多忙のため参加できませんでした。また、これ以降地元である千歳や函館、石狩でのアカデミー研修塾についても仕事への影響が大きすぎ、参加する時間を作ることが叶いませんでした。結果的には札幌開催の1回しか参加できませんでしたが、他LOMのメンバーと関わる貴重な機会であり、多くのことを学べる場であったと思います。同時に、遠方へ赴くために割く時間や費用の重たさを痛感し、JCとしての活動と仕事や家庭との両立について悩ましい1年もありました。この1年の経験を糧として、今後もJC活動をしていけるよう邁進していきます。

## 道央エリアアカデミー塾 塾生 佐藤 一馬

2015年に青年会議所に入会し、2年目である今年、道央エリアアカデミー塾へ出向させていただきました。道央管内15LOMの入会3年未満の正会員が集うということで、日常の青年会議所活動では接することのない所属LOMの垣根を越えたメンバーと共に、青年会議所の活動の基本である「修練・奉仕・友情」について学んで参りました。講演やグループディスカッション、スポーツ交流等を通して、互いに切磋琢磨し、親睦を深めることができ、大変貴重な経験となりました。今回のアカデミー塾で得たものをこれから青年会議所活動の糧とし、卒業まで残り2年と限られた時間の中で、千歳のまちづくりのために最大限貢献すべく邁進していきたいと思います。

## 道央エリアアカデミー塾 塾生 富樫 昭大

本年度新入会員として一般社団法人千歳青年会議所に入会し、道央エリアアカデミー塾に出向させていただきました。当初内容は説明されず行けば分かるからということで参加いたしました。第1回のアカデミー塾にて、龍田昌樹先輩からは「アカデミーでは一生の友達ができる」と言われ1年間共に学ぶメンバーと名刺交換をさせていただきました。道央エリアアカデミー塾は全4回、当別、砂川、千歳、石狩の地で開催され、函館の地で行われた全道アカデミーを含めその全てのアカデミーに参加いたしました。最初は半信半疑でしたが終わってみれば、スポーツ交流や井作りなど他LOMのメンバーとの交流を通じ、同じ境遇に立ち悩みを共有できる仲間を作ることができました。この全ての経験を次年度アカデミー塾出向者に伝えていきたいと思います。結びとなりますが、道央エリアアカデミー塾に出向させていただくに当たり、道央エリア運営会議の皆様や各地青年会議所会員の皆様にご支援、ご協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げ、塾生報告とさせていただきます。

## 道央エリアアカデミー塾 塾生 沼田 大喜

1年間アカデミー塾生として参加できるところは参加しようとしましたが、残念ながら入校式の前に行われた講師の方の講演だけの参加になってしまいました。しかし他のチームの方たちが自分の店で懇親会を開催していただき、そこで他地域の青年会議所メンバーとの交流を持つことが出来ました。確かに自分発信での交流ではなく自分が配属されたチームでもないですが、これもアカデミーから生まれた縁であり、これから自分の宝になる絆かと考えます。これから自分にとって2年目である次年度に入りますが、2016年度のアカデミー生としてまた何か集まりがあるかと思います。そういう集まりにはなるべく積極的に参加し、他の青年会議所との交流を図り、自らの仕事や交流関係、そしてこれから青年会議所の活動に役に立つようにしていきたいと思います。最後になりますが千歳で行われた地元開催でのアカデミーすら参加できなかったことなど、井渕エリア長を始めとするアカデミー研修塾を運営していただいた道央エリア運営会議の皆様の熱い思いに答えられず、残念な気持ちが多いアカデミー塾生としての1年になってしまいましたが、1年間お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

道央エリアアカデミー塾 塾生 林 愛

2016年1月1日に一般社団法人千歳青年会議所に入会させていただき、すぐに道央エリアアカデミー塾に出向させていただきました。アカデミー塾では、入会3年未満の同じ志をもつ仲間との出会いがありました。また、OBの方や現役メンバーの方のこれまでの青年会議所活動の体験談のお話を聞いたことや、塾生がチームごとに分かれて与えられた課題に対して考え、実践し、達成する事によって、学ぶ事の楽しさやチームワークの大切さを学びました。今回のアカデミー塾での経験を、今後の千歳青年会議所活動に繋げていきたいと思います。大変貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

道央エリアアカデミー塾 塾生 藤野 マキ

2016年1月に一般社団法人千歳青年会議所に入会させていただき、入会後すぐに道央エリアアカデミー塾に出向させていただきました。年齢や経験、立場の違う方々との交流を通じ、JCや仲間をテーマに様々なことを学ばせていただきました。当初、日程の調整がなかなか上手くいかず出席率は高くありませんでしたが少ない参加数の中でも得ることはたくさんありました。このアカデミー塾で経験したことを来年以降LOMで活かせるような活動をしていきたいと思います。最後になりますがアカデミー塾で共に学んだ仲間たちとアカデミー塾の運営に携わっていただいたすべての皆さんとこのような素晴らしいアカデミー塾に出向させてくれた中山理事長に感謝を申し上げ、私からの出向者報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。